

浜松市中心街を舞台に繰り広げられるイベントに、若者のアイデアを取り入れてさらなる活性化につなげようと新設された役職に就いた。運営には大学1年の第11回から関わっている。10月19、20両日の本番に向けて準備を進めている。静岡文化芸術大文化政策学部2年。愛知県出身。20歳。

―就任の抱負を。

「ディレクターはこれまでになかったポジション。分からないことばかりで不安だが、思い描いてきたフェスティバルの実現に向けて全力で取り組みたい」

―今回の構想は。

第13回やらまいかミュージックフェスティバル in はままつのディレクターに就任した

すぎむら 杉村 公脩 さん (中区中央)

この人



「他のイベントとの兼ね合いで、今回は例年より1週間遅く開催される。寒くなり始める時期なので温かい飲み物のブースを用意するのも案の一つ。熱いステージを繰り広げて身も心も温まるイベントにしたい」

―参加したきっかけは。

「大学の地域実践演習の

一環で関わり始めた。1年目はイベントを作り上げる過程を学べ、2年目はより深く関わられた。本番で想定外の事案が起こるなど、運営は想像以上に大変だと体感した」

―浜松の印象は。

「至る所に広いスペースがあり、視点を変えればステージになる。楽器メーカーも多く、音楽イベントに対して他地域ではまねできない支援をしてくれる」

◇ 写真が趣味。愛用の一眼レフで街並みを撮影する。

(浜松総局・小沢佑太郎)